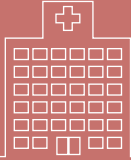


八鹿病院 ニュース

2009年
1月

公立八鹿病院基本理念

『私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。』



新年の挨拶



八鹿病院組合 管理者

池口 寿彦

明けましておめでとございます。皆様方にはご家族お揃いで良い年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、平素から病院運営には温かいご理解を頂いておりますこと深く感謝申し上げます。

さて、私ごと、昨年10月公立八鹿病院組合規約の改正をつけ、養父市長及び香美町長の共同任命により公立八鹿病院組合管理者として指名されました。もとより微力ではございますが全力をあげ病院組合運営に取り組み、より良い医療が提供できますよう務めて参りたいと決意しております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

ところで、皆様方ご承知のとおり新医師臨床研修制度に端を發した医師不足は地方の病院に深刻な影響を与えており、運営危機に直面する病院もあるなど地域医療を取り巻く環境は誠に厳しいと言えます。当病院も平成15年には55人在籍していた医師が現在は40人という厳しい状況にあります。

しかし、当病院に於いては「地域の医療を守る」という強い信念の下、医師、看護師を始めとして全職員が一丸となり医療の確保にあたっているところでございます。先般も他府県の病院議会の視察がありましたが、「40人の医師で420床の病院を維持するのはまさに驚異的だ」との感想をもらしてありました。国もようやく医師の絶対数が不足しているとの認識に立ち、医師増の政策に着手しました。すべの効果は期待できませんが、やがて展望はかならず開けると確信しております。

経済不況の波、行革の波は急速に広がり、暮らしの豊かさ、住民サービス等は一段と低下の兆しにありますが、「地域住民の命と健康を守る」ことは行政の根源的な目標であり、これを直接的に実行するのが、私たち公立病院に与えられた使命であります。

安心して暮らせる地域実現のため更なる取り組みを進めて参ります。ごつか皆様方には、引き続きの温かいご理解ご支援をお願い申し上げます。

新しい年が皆様方にとりまして素晴らしい年となりますよう祈念し、新年のご挨拶いたします。

新年の挨拶



八鹿病院 院長
岩井 宣健

新年あけましておめでとうございます。
アメリカに端を発した世界不況は私たちにさまざまな影響を及ぼしていますが、医療も例外ではありません。医療、福祉がこれ以上後退しないことを願っております。

環境破壊の象徴ともいえるコウノトリの絶滅の問題では、関係者の地道な努力によって繁殖事業が軌道にのったことは、私たちに夢と希望を与えてくれました。しかし、ここに至るまでに多大な努力と時間が必要でした。先はまだ長いでしょう。

いま、「医療崩壊」という言葉を日常的に目にします。公立病院を中心に病院数の減少が続いており、日本の医療崩壊の進行は止まるどころを知らず、特にそれは地方において顕著です。

一度崩壊したものを元に戻させることは、ほぼ不可能です。国も医師増を図るといって政策転換を行いました。が、

いまだ実効性のある適切な対策は打ち出せません。

私たち八鹿病院は地域中核病院として総合病院的機能を持つべきですが、それも次第にむずかしくなっております。いま、但馬には医師が充足している病院は一つもありません。それへの対応策として、病院と病院、病院と診療所など但馬に居る医師が協力し合って地域医療を実践しております。

多くの問題の解決のためには、地域住民の皆様方のご理解とご協力を頂きたい。



ながら、医療の現状認識を深め、共に問題解決を図ってゆくことが大切だと思います。何卒よろしくご理解、ご支援の程お願い申し上げます。

皆様には今年一年いい年となりますことをお祈りいたします。



昨年の八鹿病院クリスマスはイベントでいっぱいでした!

院内をいち早くクリスマス色に包んでくれたのは、4階から11階につながるスタッフステーション横の光庭のクリスマスイルミネーションの点灯。11階から流れるようなイルミネーションはとても幻想的でした。

また、多彩な出演者による院内クリスマスコンサートや、24日(水)に八鹿病院合唱団が病棟を巡回してクリスマスソングをお届けする「病棟クリスマスコンサート」も開かれました。

少しでも患者さんや地域の方々に親しんでいただける様、来年のクリスマスも楽しいイベントを企画致しますので、楽しみに！



▲今年はスノーマンも登場!

簡単な大腸検査

～CTによる新しい大腸検査法～

「痛い」というイメージからどうしても敬遠されがちな大腸検査。当院では、新しい大腸検査法を取り入れ、苦痛が少なく気軽に受けられる検査を行ない、病気の早期発見を目指しています。

当院ではCTの最新機器を導入しています

公立八鹿病院の新築にともない、各種最新医療機器が導入されました。その中の一つに、新しいマルチスライスCTの詳細な再構成3次元画像で、大腸の仮想内視鏡検査、仮想注腸造影、横断像が同時に撮影できる機器があります。



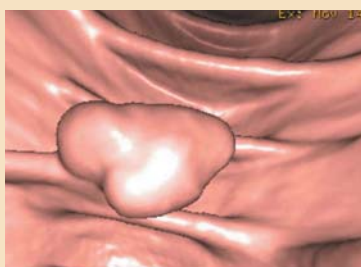
▲最新のCT機器

新しい3次元CT検査は撮影のみで苦痛が少ない

従来の大腸内視鏡検査は、腸の長い人や、子宮筋腫などの術後で腸の癒着がある人では検査時の苦痛が強く、敬遠されることの多い検査法でした。そのために住民検診で大腸の精密検査が必要であっても約45%の人が大腸検査を受けないのが現状でした。

しかし、この新しい3次元CT検査では、当日下剤を飲んで肛門から空気を注入して腸をふくらませ、仰向けと腹ばいで2度CT撮影を行います。なお、この3次元CTによる大腸検査は、但馬地方では八鹿病院でしか検査できません。

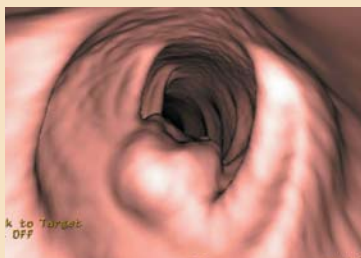
【お問い合わせ】公立八鹿病院 胃腸科



▲3次元CTで発見された1.5cmのポリープ



▲左の3次元画像と同じ部分のポリープの内視鏡写真



【左上】3次元CTで発見された1.8cmの大腸がん



【右上】仮想注腸造影。矢印が病変

【下】大腸がんの切除標本

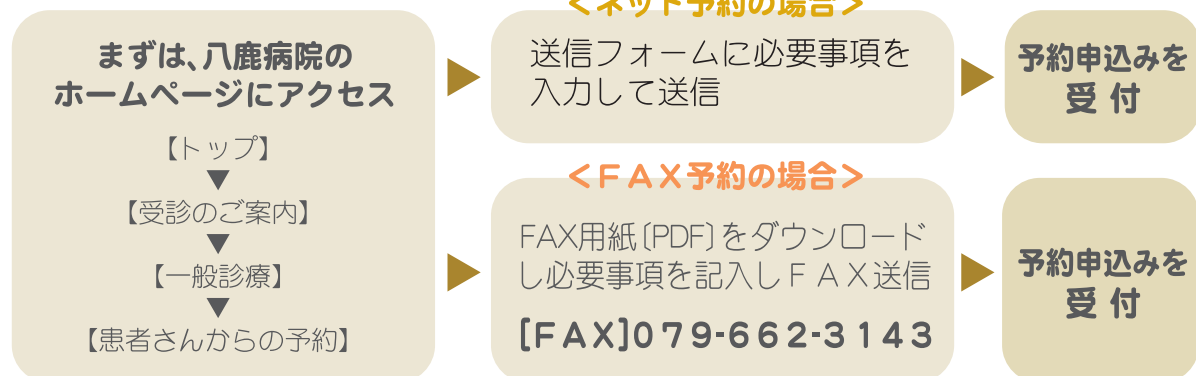


インターネット予約・FAX予約を 始めました！

当院では、地域みなさんに便利にご利用頂くため、電話予約に加え、インターネット・FAXでの予約システムを導入しました。

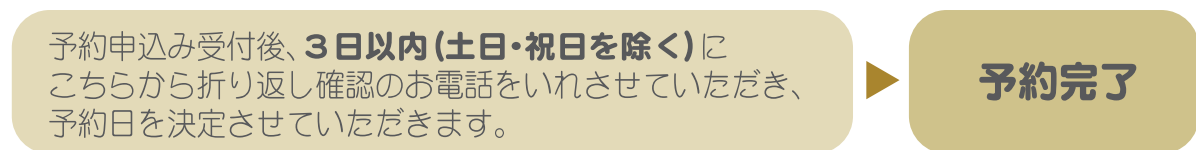


Q.どうやって予約するの？



Q.予約申込み受付の後は？

※番号を良くお確かめの上、お間違えないようお願い致します。



※万一、連絡がない場合は、右記までお問い合わせください。

※必ず予約状況を確認のうえ、お申込みください。

※当日の受診にはご利用いただけませんのでご了承ください。

※患者さんからの診察医師のご指名は承れませんので、ご了承ください。

<お問い合わせ>

公立八鹿病院 地域医療課

TEL 079-662-5555(代表)

[お問い合わせ時間] 平日 8:30~17:15

新しく着任された先生のご紹介



【内科】

みずもり やすゆき

水守 康之 先生

週1日の外来から10月より再び常勤となりました。皆様に安心を与える医療ができるように頑張ります。



【内科】

やまむら みき

山村 美樹 先生

まだ未熟者で、皆様にご迷惑をかけることも多いかと思いますが、よろしくお願致します。



小児科休日診療の お知らせ

片山キッズクリニックの先生による診療です。

- 受付時間 8:30~11:00 13:30~15:00
- 診察日 3月1日(日) 3月29日(日)

●お問い合わせ **公立八鹿病院 小児科**